

為何越南能，台灣不能？ ——台灣日語教育環境考察——

賴錦雀

東吳大學日本語文學系教授

摘要

目前(2017 年 2 月)台灣的學生從小學時代開始學英語。高級中學及國民中學、國民小學並未將日語定為必修科目。大學日語系學生多數是從頭開始學日語，因此無法進行具有深度的教學。而在高中階段曾經修習過日語的學生，即使進了大學也會遇到銜接問題的困擾。由於所謂的國際化，有一部分大學日語系以英語教授日本文化等課程。反觀在韓國，日語乃是大學入學考試的科目之一，因此高中日語課程受到相當的重視；越南則於 2016 年 9 月開始在首都河內的小學設置了以日語為第一外語的實驗課程。觀察了台灣的教育狀況之後，產生了下列疑問：

為何在台灣國際化變成了英語化？

為何韓國能，台灣不能？

為何越南能，台灣不能？

本論文先考察台灣日語教育環境的問題點之後，再針對改善案提出個人的見解。

關鍵詞：台灣、日語教育、環境、外語教育政策、日語形容詞造詞

何故、ベトナムはできて、台湾はできないのか —台湾における日本語教育環境についての考察—

頼錦雀

東呉大学日本語文学科教授

要旨

2017年2月現在、台湾において英語の授業は小学校から実施されているが、日本語は普通高校と高校以下の教育段階における必修科目にはなっていない。大学の日本語文学科の学生はアイウエオから勉強する初心者が多いので、一年次から深度ある学習はできない。高校で日本語を勉強した既修者は大学に入ってもアーティキュレーションの問題にぶつかる。大学日本語文学科の日本文化の授業を英語で行われていることもある。それに対して、韓国では日本語が大学の入試科目になっているので高校での教育が重視されている。ベトナムでは2016年9月から試験的に首都ハノイの小学校に第一外国語としての日本語学習クラスが設置された。上述した台湾の日本語教育事情を見て、次のような疑問が出てきた。

なぜ、台湾では国際化が英語化になっているのか。

なぜ、韓国はできて、台湾はできないのか。

なぜ、ベトナムはできて、台湾はできないのか。

多言語多文化の台湾における日本語教育環境の問題点を考察し、改善案に対する私見を述べるのが本稿の狙いである。

キーワード：台湾、日本語教育、環境、外国語教育政策、
形容詞の語形成

Why Vietnam can , Taiwan can not?
A Study of the Japanese Language Education Environment
in Taiwan

Lai, Jiin-chiueh

Professor, Soochow University, Taiwan

Abstract

At present, Taiwanese students begin to learn English from primary school. High school and secondary school, primary school do not make Japanese as a compulsory subject. Most of the Japanese language students are beginning to learn Japanese from 'a, i, u, e, o'. So teachers can not carry out advanced teaching activities. Students who have learned Japanese at the high school will encounter problems with articulation even when they enter university. In order to pursue internationalization, a part of the Japanese department teach Japanese culture courses in English. In Korea, Japanese is one of the subjects of university entrance examinations, so Japanese classes in high school is taken seriously. In Vietnam from September 2016 Japanese language learning class as the first foreign language was established at elementary school in Hanoi capital.

Observed the educational environment in Taiwan, the following questions arise:

Why does internationalization turn into English in Taiwan?

Why Korea can, Taiwan can not?

Why Vietnam can, Taiwan can not?

In this paper, I will consider the problem of Japanese education environment in Taiwan, then make the suggestion on improvement.

Keywords: Taiwan, Japanese education, environment, foreign language education policy, The formation of Japanese Adjectives.

何故、ベトナムはできて、台湾はできないのか —台湾における日本語教育環境についての考察—

頼錦雀

東呉大学日本語文学科教授

1. はじめに

1895年に始められた台湾における日本語教育は2015年に120周年という大きな節目を迎えた。ここ122年来の日本語教育は(1)日本植民地政府による1895年から1945年までの侵略的日本語教育時期(2)1945年の終戦から中国文化学院に日本語を主専攻とする東方語文学科ができた1963年までの禁止的日本語教育時期(3)1963年から知日派の李登輝総統が就任した1988年までの経済的日本語教育時期(4)1988年から今日までの文化的日本語教育時期、というように区分される。122年もある歴史を持っているので教育制度が充実していると思われるだろうが、実はいろいろな問題を抱えている。複言語の重要性が唱えられている¹21世紀なのに多言語多文化の台湾では英語一辺倒の外国語教育が行われている。例えば、2011年に発布された「教育部補助大專校院精進全英語學位學制班別計畫要點」によって、英語を教室言語とする授業を設けるように要求されたので大学の日本語文学科で英語による日本文化の授業が行われている。そして、1996年から高校における第二外国語推進計画によって多くの高校生が日本語を履修するようになっているが、韓国とは違って大学入試の科目でないので高校三年生で日本語学習を中断したものが増えて、大学に入った後アイウエオから勉強し直す羽目になったケースが少なくない。それで日本語教育のアーティキュレーションの問題だけではなく、時間が無駄になり、学習者の心理に悪影響を与える恐れもある。既に一部の中学校で日本語教育を実施していたベトナムは三年生以上の生徒を対象に2016年9月から試験

¹ 吉島・大橋(2004)を参照。

的に、首都ハノイの三つの小学校に日本語学習クラスを2クラスずつ設置し、日本語を英語などと並ぶ第1外国語として教える授業がスタートした²。それに対して台湾の日本語教育は制度面において遅れているようである。「九年国民義務教育」が実施開始された1968年から英語が中学の必修科目になっている台湾では現在、小学校時代から英語教育が施されているが、それに対して1983年に英語以外の第二外国語が普通高校の学習要領「高級中學課程標準」に選択科目として入れられた。1994年に実験授業が実施され、1996年から今日まで「推動高級中學選修第二外語課程」の奨励計画が行われている。しかし、2016年現在では政府主導の、小学校における第一言語としての日本語教育はまだ見られない。

上述した台湾の日本語教育事情を見て、次のような疑問が出てきた。

- 一、なぜ、台湾では国際化が英語化になっているのか。
- 二、なぜ、韓国はできて、台湾はできないのか。
- 三、なぜ、ベトナムはできて、台湾はできないのか。

本稿では現在、台湾の日本語教育を取り巻く環境を考察した後、その問題点を取り上げ、改善方策に対する私見を述べたいものである。

2. 台湾の日本語教育を取り巻く環境

文化的日本語教育時期における台湾の日本語教育はどのような環境で行われているのか、学習環境、台日間の人的交流、学習者数、日本語景観の側面から見てみよう。

2.1 学習環境

1945-1970年代では、台湾における日本語学習用教材には教科書、辞書、小説、日本語の新聞があったが、学校の先生、日本人のお客様、短波放送の日本語の音声、副教材の録音テープを除いて殆んど

² 国際交流基金などによると初等教育の段階で、日本語を第1外国語として教えるのは東南アジアで初めてという。詳しくは産経新聞 2016年3月2日及び共通通信 47news2016年9月15日を参照されたい。

生の日本語を体験する機会にはなかった。特に、1987年7月15日に戒厳令が廃止されるまでは日本語書物や新聞は検閲の対象になっていた（表1参照）。

（表1）台湾の日本語学習環境

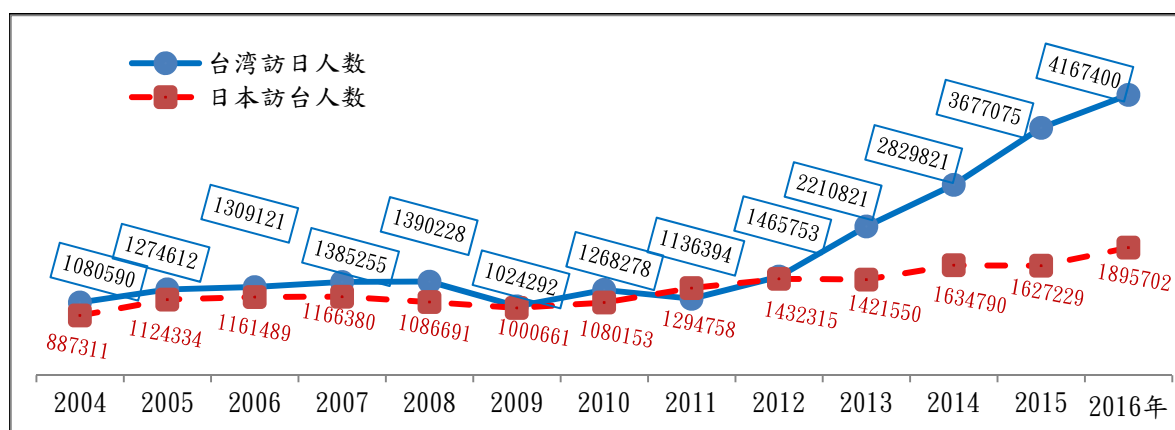
1970年代	2010年代
<p>日本語学習教材 台湾国内の場合 教科書、辞書、小説、日本語新聞</p> <p>日本での留学・研修（なし）</p> <p>日本人との交流 台湾国内 学校の先生、お客様、 日本人留学生 日本での留学（なし）</p>	<p>日本語学習教材 台湾国内の場合 教科書、辞書、小説、日本語新聞、 テレビ日本語番組、ラジオ日本語番組 日本語サイト、アニメ、漫画、雑誌、歌 など</p> <p>日本での留学・研修 日本の大学での勉強、 日本社会での勉強、 テレビ日本語番組、ラジオ日本語番組 日本語サイト、日本語新聞、アニメ、 漫画、雑誌、歌、辞書 など</p> <p>日本人との交流 台湾国内 日本人の先生、日本人留学生、 日本人研修生、日本人のお客様、メル友 日本での留学 学校の先生、学校の事務の方々、友だち、 近所の人たち</p>

それに対して2017年2月現在では教科書、辞書、小説、日本語の新聞、日本語の歌の外に、テレビの日本語番組、ラジオの日本語番組、インターネットの日本語サイト、アニメ、漫画、雑誌など日本語学習の教材にはいろいろな選択肢がある。そして、学校の先生、日本人のお客様の他に、日本からの研修生や留学生、テレビの日本語番組、インターネットの日本語サイト、日本人のメル友、いろいろな音声・映像付きのメディアによって日本語を実際に体験するチャンスに恵まれている。また、日本へ行くことも自由になった。東呉大学の事例で見ると、自律学習システム（Japanese Self-Help Group）によって日本語能力試験対策、新聞日本語などのためのグループ学習ができ、日本語コーナーの措置によって日本人

留学生との対面会話ができ、そして日本への短期研修や短期留学もできる。このように、教室外における日本語学習環境及び日本語使用環境が日本ほど恵まれていない現代の台湾でも、戦後から 2000 年までの間に比べて、日本語に触れる機会が確かに増えた。それは日本語教育者や日本語学習者、日本のことを理解しようとする者にとってはいいことである。特に、科学技術の進歩によって、インターネット、ソーシャルメディアなどを通じて 24 時間日本語の文字や音声、そして関連映像に接することができる。特に 2016 年 11 月 30 日に公益財団法人日本台湾交流協会（2016 年 12 月末までの旧名：公益財団法人交流協会）と亜東関係協会との間に言語教育の交流と協力に関する覚書についての署名が行われたので台湾における日本語教育環境がこれからもっと改善されよう。

2.2 台日間の人的交流

2014 年以來、台湾と日本の間は毎年 500 万人以上の人的交流が行われている（図 1）。台湾人が日本へ行って日本語を使うだけではなく、台湾でも日本語を使う機関が少なくない。また、2016 年 3 月の内政部の資料（表 2）を見て分かるように台湾での日本人配偶者は各地域にいる。言い換えれば、台湾の各地で日本語を話す日本人に出会う可能性がある。



（図 1）台湾と日本における人的交流

（日本観光局、台湾観光局資料によって筆者作成）

(表 2) 台湾での日本人配偶者数(2016 年 12 月)

都市別	計	男	女	都市別	計	男	女	都市別	計	男	女
新北市	920	427	493	苗栗縣	28	13	15	澎湖縣	5	3	2
臺北市	1546	658	888	彰化縣	64	25	39	基隆市	51	28	23
桃園市	347	169	178	南投縣	24	16	8	新竹市	145	53	92
臺中市	477	232	245	雲林縣	38	11	27	嘉義市	24	12	12
臺南市	230	128	102	嘉義縣	13	3	10	金門縣	3	1	2
高雄市	450	251	199	屏東縣	50	26	24	連江縣	0	0	0
宜蘭縣	40	25	15	臺東縣	29	19	10	總計	4619	2173	2446
新竹縣	86	36	50	花蓮縣	49	37	12				

(内政部移民署 2017 年 1 月 18 日の発表統計資料による)

2.3 学習者数

台湾の日本語学習者数は国際交流基金 2015 年度の調査結果によると 2012 年度よりは 5.7%減ったものの、まだ 220,045 人もあり、世界第五位である(表 3)。

(表 3) 2015 年度における日本語学習者数

2012年度 順位	2015年度 順位	国・地域名	2012年度 学習者数(人)	2015年度 学習者数(人)	増減率(%)
1	1	中国	1,046,490	953,283	△8.9
2	2	インドネシア	872,411	745,125	△14.6
3	3	韓国	840,187	556,237	△33.8
4	4	オーストラリア	296,672	357,348	20.5
5	5	台湾	233,417	220,045	△5.7
7	6	タイ	129,616	173,817	34.1
6	7	米国	155,939	170,998	9.7
8	8	ベトナム	46,762	64,863	38.7
10	9	フィリピン	32,418	50,038	54.4
9	10	マレーシア	33,077	33,224	0.4

(国際交流基金 2015 年度海外日本語教育機関調査結果 (速報値) による)

2012 年度までの資料で見ると、段階別で見ると一番学習者数が多いのは高等教育機関である(表 4)。高校においては 1996 年以来、日本語が年々英語に次いで人気のある外国語になっている。普通高校は教育部による第二外国語教育の推進奨励を受けて 1996 学年度以来、毎年日本語の授業を開設している。また、日本語の特別クラスとして、「高級中學學生預修大學第二外語課程專班」「第二外語特色課程」「特色專班」が運営されている学校もある。但し、2011 年まで第二外国語学習者の七割以上であった普通高校の日本

語学習者は韓国語や東南アジアの言語を勉強する高校生が増えたためか、2015 年は 5.7 割しかなかった（表 5、表 6 を参照されたい）³。

（表 4）台湾の日本語教育機関数・学習者数（2003-2012 年）

項目	機関数				学習者数														
年度	2003	2006	2009	2012	2003			2006			2009			2012					
専攻別					主専攻	非主専攻	合計	主専攻	非主専攻	合計	主専攻	非主専攻	合計	主専攻	非主専攻	課外	合計		
小学校	—	—	6	4	—	—	—	—	—	—	—	2440	2440	—	2181	107	2288		
国民中学	—	—	76	373	—	—	—	—	—	—	—	4585	4585	73280			11902	85182	
高等学校	122	176	220		2484	22221	24705	4527	33976	38503	*	*	46831						
専門学校	53	76	84		1460	10432	11892	2763	16932	19695	*	*	25723						
大学	145	166	166	133	14095	61147	75242	18138	100403	118541	18505	101393	119898	20403	86125	707	107235		
学校以外	115	105	377	244	16802			14628			48164			38712					
全体	435	513	927	744	128641			191367			247641			233417					

（交流協会・国際交流基金資料によって筆者作成）

（表 5）台湾の普通高校における日本語学習者数

年度別	学期別	日語	第二外語	年度別	学期別	日語	第二外語
1999 年度	第 1 学期	8646	11500	2000 年度	第 1 学期	12972	15738
	第 2 学期	8302	11123		第 2 学期	15777	18429
2001 年度	第 1 学期	15310	18903	2002 年度	第 1 学期	16200	20954
	第 2 学期	14902	18412		第 2 学期	14864	18691
2003 年度	第 1 学期	14857	19306	2004 年度	第 1 学期	14222	18884
	第 2 学期	13376	16818		第 2 学期	16774	20576
2005 年度	第 1 学期	19877	24539	2006 年度	第 1 学期	20523	26289
	第 2 学期	17227	22169		第 2 学期	17962	22447
2007 年度	第 1 学期	24233	29890	2008 年度	第 1 学期	22791	29377
	第 2 学期	23292	29262		第 2 学期	22004	28700
2009 年度	第 1 学期	23837	30512	2010 年度	第 1 学期	34858	46554
	第 2 学期	24634	31325		第 2 学期	31501	42752
2011 年度	第 1 学期	38337	55408	2012 年度	第 1 学期	39466	59506
	第 2 学期	38488	54210		第 2 学期	34481	53349
2013 年度	第 1 学期	35165	59188	2014 年度	第 1 学期	29534	49547
	第 2 学期	35235	57994		第 2 学期	33516	57084
2015 年度	第 1 学期	33696	58719	（教育部高級中學第二外語教育學科中心資料によって筆者作成）			
	第 2 学期	32067	56195				

³ 教育部高級中學第二外語教育學科中心の資料数値は時々、数値が変化することが見られるが、ここでは 2016 年 12 月 15 日に閲覧した数値による。

(表 6) 台湾の普通高校における第二外国語教育

学年	学期	語 種	校数	班数	学生数
1999	1	日、仏、独、西	—	325	11500
	2	日、仏、独、西	—	323	11123
2000	1	日、仏、独、西	—	461	15738
	2	日、仏、独、西	—	479	18429
2001	1	日、仏、独、西	99	662	18903
	2	日、仏、独、西	99	662	18412
2002	1	日、仏、独、西	105	598	20954
	2	日、仏、独、西	111	534	18691
2003	1	日、仏、独、西	100	559	19306
	2	日、仏、独、西	112	532	16818
2004	1	日、仏、独、西	111	571	18884
	2	日、仏、独、西、韓	133	666	20576
2005	1	日、仏、独、西、韓	139	731	24539
	2	日、仏、独、西、韓、露、拉	137	702	22169
2006	1	日、仏、独、西、韓、露、拉	159	795	26289
	2	日、仏、独、西、韓、露、拉	145	710	22447
2007	1	日、仏、独、西、韓、露、拉	184	873	29890
	2	日、仏、独、西、韓、露、拉	189	876	29262
2008	1	日、仏、独、西、韓、露、拉	197	863	29377
	2	日、仏、独、西、韓、露、拉	198	807	28700
2009	1	日、仏、独、西、韓、露、拉	199	887	30512
	2	日、仏、独、西、韓、露、拉	205	930	31325
2010	1	日、仏、独、西、韓、露、拉、義、越、尼	225	1328	46554
	2	日、仏、独、西、韓、露、拉、義、越、尼	228	1331	42752
2011	1	日、仏、独、西、韓、露、拉、義、越、尼	233	1585	55408
	2	日、仏、独、西、韓、露、拉、義、越、尼	242	2008	54210
2012	1	日、仏、独、西、韓、露、拉、義、越、尼	251	1734	59506
	2	日、仏、独、西、韓、露、拉、義、越、泰、尼	244	1667	53349
2013	1	日、仏、独、西、韓、拉、葡、義、越、泰、馬、尼	246	1797	59188
	2	日、仏、独、西、韓、拉、葡、義、越、泰、馬、尼	269	1951	57994
2014	1	日、仏、独、西、韓、拉、葡、義、越、馬、尼、非	229	1753	49547
	2	日、仏、独、西、韓、拉、葡、義、越、泰、馬、尼、非	246	1940	57084
2015	1	日、仏、独、西、韓、露、拉、葡、義、越、泰、馬、尼、非	243	1745	58719
	2	日、仏、独、西、韓、露、拉、葡、義、越、泰、馬、尼、非、緬	247	1922	56195

(教育部高級中學第二外語教育學科中心資料によって筆者作成)

2.4 台湾の日本語景観

台湾の街角ではいろいろな日本語景観が見られる。それをまとめると次のようになる。

- (1) 日本語と表記して日本語で読む。例えば、店の名前。
- (2) 日本語と表記して中国語で読む。例えば、人名、地名、製品名など。
- (3) 日本語を中国語に訳する。
- (4) 日本語と中国語訳を併用する。
- (5) 間違った日本語表記で表記する。
- (6) 日本語を中国語として使う。



(図 2) 台湾の街角における日本語景観

その日本語景観のうち、台湾語になった言葉もあるし、片仮名と平仮名の誤謬などの間違った使い方もある。また、漢字の間違いもよく見られる。確かに、台湾教育部で1972年に発表された「常用國字」の4808字という数から見れば、当用漢字の1850字、常用漢字の1945字、改定常用漢字の2136字はそれほど多くないと思われる。しかし、多くの漢字には複数の日本語の読み方があり、そして漢字の組み合わせで何かの意を表すとき、その読み方にはいろいろ変化があるし、中国語話者にとってその漢字表記で意味を類推できないものが少なくない。また、字形において台湾の漢字と日本の漢字で違ったものも少なくない。台日の言語の違いは日本語学習者の負担になることが考えられる⁴。

3. 台湾の日本語教育環境の問題点

ここでは台湾の日本語教育環境の問題点について、外国語教育政策、大学入試、日本語教育内容の角度から考えてみたい。

3.1 外国語教育政策の問題

(表7)「十二年國民基本教育各教育階段共同課程之領域課程架構」における外国語文

教育階段 階段 年級 領域		國民小學						國民中學			高級中等學校		
		第一學習階段		第二學習階段		第三學習階段		第四學習階段			第五學習階段 (一般科目)		
		一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二
語文	國語文	國語文		國語文		國語文		國語文			國語文		
	本土語文/ 新住民語文	本土語文/ 新住民語文		本土語文/ 新住民語文		本土語文/ 新住民語文							
		英語文		英語文		英語文		英語文			英語文		
											第二外國語文 (選修)		

(教育部2014「十二年國民基本教育課程綱要總綱」による)

⁴ 台湾における日本語の漢字指導について詳しくは頼(2015)を参照されたい。

台湾では 1990 年代以降、コンピューターが普及するようになり、英語力の重要性が改めて認識されたので、2001 年に実施された小学校一年次からの九年一貫課程においては、小学校 5、6 年次から英語教育が施されている。多くの小学生は国語の中国語に母語、英語の授業を受けている。そして 2014 年 11 月に発布され、2018 年から実施される予定の「十二年國民基本教育各教育階段共同課程之領域課程架構」における言語の部門においては国語文のほかに、本土語文と新住民語文⁵が入っている（表 7）。いわゆる第二外国語学習は高校段階になって初めて英語科目と一緒に選択科目の一つとして設けられている。

中等教育においては英語以外の外国語教育は第二外国語教育と称される。1983 年に第二外国語が普通高校の学習要領「高級中學課程標準」に選択科目として入れられたが、1994 年になってはじめて幾つかの高校がそれを実験して英語以外の外国語の授業を設けた。それを奨励するために教育部は 1996 年以降「推動高級中學選修第二外語課程」の計画を実施してきた。なお、第二外国語教育の教育効果を高めるため、2005 年に「推動高級中學第二外語教育工作小組」、「日語學科中心」を設置した。2007 年に輔仁大学に委託して「第二外國語教育學科中心」を設置し、2008 年から優秀な高校生の適性教育を図って「高級中學學生預修大學第二外語課程專班」を設けた。職業高校における第二外国語の教育効果を高めるため、「外語群科中心」を設けて各種のイベントを実施している。しかし、2017 年 2 月現在、普通高校の三年生で学校で英語以外の外国語を勉強するものは少ない。何故なら大学入試の科目ではないからである。

地球村の趨勢及び学生の国際視野を広げるために外国語教育を重視するのはいいことであるが、英語一辺倒では困る。特に、教育部は「英語能力試験合格」を大学への助成金の基準にした⁶ので、それ

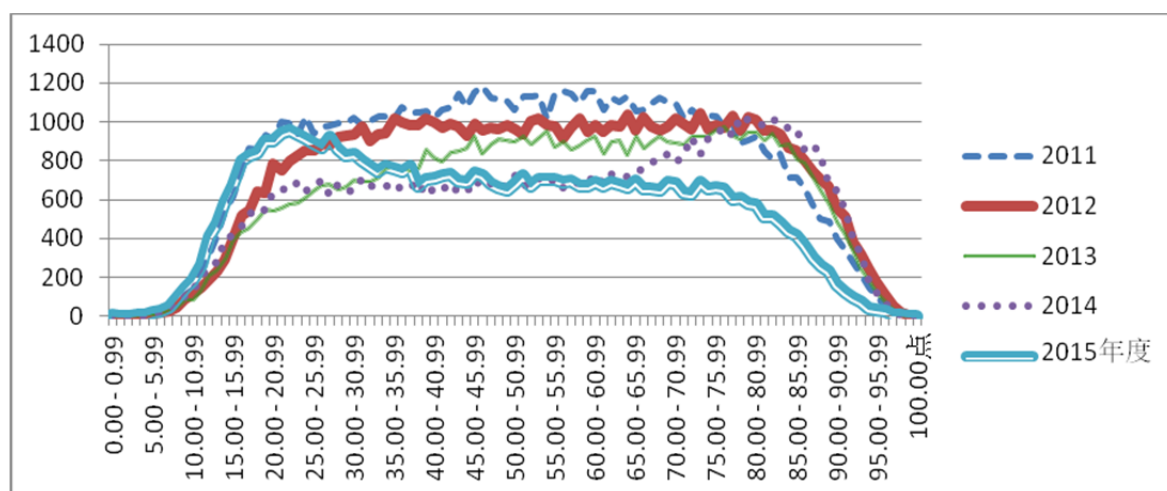
⁵ いわゆる「新住民語文」とはベトナム語、インドネシア語、タイ語、ミャンマー語、カンボジア語、フィリピン語とマレーシア語の七種の東南アジアの言語を指す。

⁶ 台湾教育部 2016 年 9 月 10 日「臺教高(二)字第 1050111306 號」公文書では「本部為引導大學實質改革大學英語教育，並制定「以學生為主體，以學習成效為導向」

が大学評価の項目の一つになっている。また、2011年に「教育部補助大專校院精進全英語學位學制班別計畫要點」（2012年に「教育部補助大專校院精進全英語學位學制別計畫要點」と修正）が發布され、全英語の授業をすることによって大学生の国際視野を広げ、国際移動力を高めるように各大学を要求した。その結果、日本語文学科も英語で日本文化の授業をするようになった。

このように英語が重視されている台湾の外国語教育政策であるが、大学入試の成績を見て分かるように台湾の高校生の英語のレベルが高いとは言えない（図3参照）。台湾は昔から多言語多文化の社会なのに英語一辺倒という外国語政策ではせっかくの多言語社会も特色が少しずつなくなるのではないかと危惧する。また、学習者の適性やニーズのこともあるので、その意志を無視した外国語教育は考え物である。

なぜ、台湾では国際化が英語化になっているのだろうか。



(図3) 2011-2015 年度台湾の大学入試における英語の成績
(大学入試センター資料によって筆者作成)

之個案式診斷方式，以分級能力加值進行教學與輔導的方式強化學生英語能力，並於第三期獎勵大學教學卓越計畫第2階段(104-105年)增訂「建置整合英語文學習成效診斷與教學輔導系統，並訂定學生英語能力加值目標並達成設定目標」という内容で分かるように、英検が助成金の基準にされたことは事実である。

3.2 大学入試の問題

現在、台湾では外国語小学校、外国語中学校は設けられていない。そして、上述したように普通高校、職業高校で日本語を勉強した学生であっても大学に入ったら初心者と一緒にアイウエオから勉強し直すケースは多々ある。アーティキュレーションの側面から見れば問題がある。更に、教育部では各段階における外国語能力試験合格者数を報告させているので、外国語能力試験合格は多くの学校の卒業条件になっている⁷。日本語関係の能力検定試験は産出の作文能力、発話能力を測れないので、たとえ日本語能力試験の一番トップの N1 に合格しても日本語の運用力を持つとは限らない。

韓国の大学入学試験では英語領域のほかに「第二外国語・漢文領域」があり、「アラビア語 1、ドイツ語 1、スペイン語 1、中国語 1、ベトナム語 1、日本語 1、フランス語 1、ロシア語 1、漢文 1」から 1 科目のみ選択することになっている。それに対して、台湾では科技大学の入試は日本語科目が設けられているが、総合大学の入学試験は英語以外の外国語科目はない。それで、せっかく 1996 年から「推動高級中學選修第二外語課程」の計画が実施されてきたのに、高校三年次で英語以外の外国語を勉強する高校生は少ない。大学入試のメリットにならないからである。大学日本語学科の新入生の多くは初心者なのでその勉強は幼稚園児以下の語学内容になり、四年次になっても流暢に日本語を運用できない学生が少なくない結果になる。受験勉強のための日本語学習は奨励されるべきではないが、事実としては大学入試の科目にしないと高校生の日本語学習と大学のアーティキュレーションを求めようと思ってもできないのではないかとと思われる。

⁷ 教育部 2016 年 9 月 10 日「臺教高(二)字第 1050111306 號」公文書では「目前本部尚未強制學校以通過英語檢定作為畢業門檻」と、英検合格を卒業条件にしていらないように弁解しても、実際に多くの大学は助成金欲しさで英検を卒業条件にしている。その煽りで、ますます英語一辺倒の外国語教育の傾向になり、英語以外の外国語教育の正常化はできないのである。

韓国では大学入試科目には日本語の科目がある。それによって学生の高校・大学での一貫した日本語学習の可能性が考えられる。考えてみれば、韓国の日本語関係学科が日本語、日本文学、日本文化、日本語教育などに下位分類できたのもこの大学入試における日本語科目に関係しているのではなかろうか。日本語教育学科もあるので日本語教師養成は充実した制度で行われている。韓国のことを見て台湾の日本語教育事情を考えてみると、次のような疑問がますます高まってくる。

なぜ、韓国はできて、台湾はできないのだろうか。

3.3 日本語教育内容の問題

122 年もの歴史がある台湾の日本語教育は前述したように初等教育から高等教育までの一貫した制度もないし、高校と大学のアーティキュレーションにも問題点がある。大学日本語学科の新入生の多くは初心者なのでその勉強は日本の幼稚園児以下の語学内容になり、四年次になっても日本語を上手に運用できない学生が少なくない結果になる。特に学生が大学に入る前にすでに 6 年間以上英語を勉強した英語学科と比べると、カリキュラム編成と学習内容とで大きい差が見られる。言い換えれば、同じ大学の外国語学科なのに日本語文学科と英語学科の大学部の教育内容が全然違うわけである。

例えば、東呉大学日本語文学科と英語学科のカリキュラムを比べてみると次のような違いが見られる。「言語学と教育」科目群を見てみると、日本語文学科は読解指導（初級日本語、中級日本語、上級日本語）、聴解指導（日語聴力訓練一～三）、日本文法（日語語法一～二、日語語法専題）、日本語研究、言語学概論、日本語教授法のようにになっているが、英語学科は読解、英語音声学、英語音韻論、英語語構成、英語意味論、英語語源学、社会言語学、CALL 英語、政治論述分析、児童英語教育、英語教授法、英語教育組織管理、英語試験と評価、英語言語学概論、異文化交流のように、言語学的視点のカリキュラムになっている。「文学・文化」の科目群と「言語と

実務」の科目群においても、日本語文学科の場合はいわゆる実用日本語力育成のための科目しかないように見られるが、英語学科の場合は実用英語力育成と共に研究に繋がる鑑賞力、分析力、批判力の授業が多い⁸。このようなカリキュラムの相違によって、大学院における研究生生活も違うようになると思われる。英語学科の場合は10年間以上の勉強によって蓄積した英語力があり、また大学時代ですでに英語言語学の訓練を受けたので、研究意識がはっきりしているはずである。一方、日本語文学科の場合は大学時代一所懸命に生活日本語の言語知識を身に付けるためにもう精一杯なので、日本言語学の訓練のための時間や日本語力はたぶん、英語学科の学生ほどできていないのではなかろうか。

教師の研究領域においても英語教育学と日本語教育学とで取り扱われ方が大分違っている。現行の科技部のカテゴリでは、英語教育学部門は英語の言語構造知識に関する「英語発音研究、英文字彙研究、英文文法研究」の他に英語教育学に関する「英語能力研究、英語聴力研究、英語口説研究、英語閱讀研究、英語寫作研究、英語翻譯研究、英語教學研究、英語教材教法研究、英語課程設計、英語測驗評量、專業英語教學研究、英語教學應用、英語電腦/網路/媒體教學研究、英語教學與語言習得、英語教學與社會語言學、英語教學與語言文化、英語教學與戲劇研究」の下位分類が見られるが、日本語教育学部門は「日語教學研究」の一項目しか見られない⁹。

ベトナム政府は「2008～2020 年期国家教育システムにおける外国語教育・学習プロジェクト」を実施中であるが、前述したように、既に一部の中学校で日本語教育を実施しているベトナムは三年生以上の生徒を対象に2016年9月から試験的に、首都ハノイの三つの小学校に日本語学習クラスを2クラスずつ設置し、日本語を英語などと並ぶ第1外国語として教える授業がスタートした。将来的にはベ

⁸ 付録1と付録2の科目表を参照されたい。

⁹ 付録3を参照されたい。

トナムの大学日本語学科の学生は今の台湾の大学日本語学科の学生より高いレベルの勉強ができ、日本語教育学研究の深度や向上も予測される。

なぜ、ベトナムはできて、台湾はできないのだろうか。

4. 私見

21 世紀における英語の重要性は否定できないものである。但し、多言語多文化の台湾なので英語以外の外国語も重視すべきである。特に、台湾における日本語は歴史的にも地理的にも経済的にも文化的にも大切な外国語である。本当の知日人材を養成するためにも、日本語を五十年間国語として使わされていた台湾の歴史を理解するためにも現行の日本語学科のカリキュラムを見直す必要があるように思われる。しかし、その前提条件として考えなければならないのは**大学以下の教育段階で日本語教育の根を下ろし、そしてそれを固めることである**。大学入試との関連がないと高校での日本語学習が断ち切られる恐れがあるし、大学における学習のレベルアップや深化に繋がることも難しい。また、日本人の日常生活で用いられている日本語の構造に対する理解力、学力も足りない恐れがある。

日本語形容詞の語構成と語形成を例として見てみよう。形容詞を中心に考察すると、次のような日本語の単語家族が観察される。

(表 8) 色彩形容詞と接尾辞による語形成

	さ	み	ずむ	ばむ	ける	む	らむ	らめる	茶ける	ざめる	っぱい
黒い	○	○	○	○							○
白い	○	○		○	○	○					○
赤い	○	○		○			○	○	○		○
青い	○	○	○	○						○	○
黄色い	?										○
茶色い	?										○

(表 9) 「高い」による語形成

高い(A)		
造語品詞	造語成分	造語例
名詞形成	A 語幹	高
	A 語幹+A 語幹	高低
	A 語幹+名詞	高軒
	A 語幹+接辞	高さ、高み、高め
	A 語幹+動詞	高望み、高鳴り
動詞形成	A 語幹+接辞	高まる、高める、高ぶる
	A 語幹+動詞	高鳴る
副詞形成	A 語幹+助詞	高が
形容動詞形成	A 語幹+接辞	高らか
感動詞	A 語幹+っ	高っ
形容詞形成	名詞+形容詞	嵩高い、名高い、物見高い
	接辞+形容詞	お高い、小高い、馬鹿高い

(表 10) 造語成分から見た形容詞の語形成状態

(1) 形容詞と名詞

- * (人名) つよし たかし やすし
- * 酸い 酸し 寿司 * 重い 重し 重石
- * ない なし 芸無し 底なし
- * 熱い 熱さ * 面白い 面白さ * 強い 強さ * 楽しい 楽しさ
- * 甘い 甘み * 重い 重み * 凄い 凄み * よい よしみ
- * 根深い * 意地悪い * 面白い * 肌寒い
- * 腹黒い * 奥床しい
- * みずみずしい
- * 白 白い * 赤 赤い * 丸 丸い * 四角 四角い

(2) 形容詞と動詞

- * 早い 早まる 早める * 高い 高まる 高める
- * 強い 強まる 強める * 弱い 弱まる 弱める
- * 渋い 渋る * 寂しい 寂びる * 正しい 正す
- * 欲しい 欲する
- * 悔しい 悔しがる * 寒い 寒がる
- * 惜しい 惜しむ 惜しがる * 悲しい 悲しむ 悲しがる

*苦しい 苦しむ 苦しがる *楽しい 楽しむ 楽しがる
 *忙しい 急ぐ *騒がしい 騒ぐ
 *望ましい 望む *喜ばしい 喜ぶ
 *痛い 痛ましい 痛む
 *憎い 憎らしい 憎たらしい 憎々しい 憎む
 *せまい せせこましい せまる
 *粘っこい 粘る
 *ありがたい *回りくどい *言いづらい *食べにくい *書きやすい

(3) 形容詞と形容詞

*浅黒い *青白い *細長い
 *重々しい *軽々しい *白々しい *長々しい *苦々しい *若々しい

(4) 形容詞と形容動詞

*暖かい 暖か *細かい 細か *柔らかい 柔らか 柔

(5) 形容詞と副詞

*赤い 赤々 *黒い 黒々 *白い 白々
 *近い 近々 *長い 長々 *安い 安々
 *くどい くどくど *のろい のろのろ
 *よい よく *すごい すごく *はやい はやく

(6) 形容詞と接辞

*眠たい
 *お寒い
 *少ない *だらしない
 *あほらしい *憎らしい *誇らしい
 *厚かましい *おこがましい *押しつけがましい *晴れがましい
 *怒りっぽい *湿っぽい *白っぽい *都会っぽい

(7) 形容詞と連体詞

*おかしい おかしな *大きい 大きな *小さい 小さな

(8) 片仮名語形容詞

*ナウい ← ナウ *エロい ← エロチック
 *ハズい ← 恥ずかしい *キモい ← 気持ち悪い
 *ヒキョい ← 卑怯 *チョロい ← ちょろちょろ
 *ショボい ← しょぼしょぼ

(表 11) 造語品詞から見た形容詞の語形成状態

1 「名詞」化されるもの

- 1.1 「形容詞語幹+ \emptyset 」形式(例：高、短、細)
- 1.2 「形容詞語幹+語尾(ク)」形式(例：遠く、近く)
- 1.3 「形容詞語幹+名詞」形式(例：大山、小さ童、長雨、短夜)
- 1.4 「形容詞語幹+動詞」形式(例：大弱り、長歩き、短編み)
- 1.5 「名詞+形容詞語幹」形式(例：根太、肉厚、手薄、欲深)
- 1.6 「動詞+形容詞語幹」形式(例：売り高、望み薄、待ち遠)
- 1.7 「形容詞語幹+形容詞語幹」形式(例：高低、遠浅)

2 「動詞」化されるもの

- 2.1 「形容詞語幹+動詞」形式(例：長引く、高鳴る、薄曇る)
- 2.2 「形容詞語幹+接辞」形式(例：長まる、長らえる、高まる)

3 「形容詞」化されるもの

- 3.1 「形容詞語幹+形容詞」(例：狭苦しい、細長い、薄寒い)
- 3.2 「形容詞語幹+接辞」(例：長たらしい、厚ぼったい)
- 3.3 「形容詞語幹+同形容詞語幹+しい」(例：長長しい、
浅浅しい、遠遠しい)

4 「形容動詞」化されるもの

- 4.1 「形容詞語幹+接辞」形式(例：小さやか、高らか、広やか)
- 4.2 「動詞+形容詞語幹」形式(例：待ち遠、望み薄)
- 4.3 「名詞+形容詞語幹」形式(例：気長、骨細、幅広、手短)

5 「副詞」化されるもの

- 5.1 「形容詞語幹+形容詞語幹+助詞」(例：長々と)
- 5.2 「形容詞語幹+接辞」(例：長らく)
- 5.3 「形容詞終止形」(例：すごい)

6 「接続詞」化されるもの

「高が」のような「形容詞語幹+助詞」形式の例が見られる。

7 「連体詞」化されるもの

大きな、小さな、長の

英語学科の学生は長年の英語学習で英語の語構成について考えるための語彙をある程度身に付けたので、「英語語構成」の授業では英語の語構成について考える力を持っている。一方、日本語文学科の学生は学習時間の制限によって語彙量も多くないし、上記のような語構成や語形成の概念で語彙の勉強をする余裕があるかどうか疑問に思われる。もしも大学日本語文学科の学生が高校ですでに日本語を勉強して、またある程度の語彙量を持っている場合、上述した語構成、語形成や単語家族の形で日本語の語彙をもっと勉強できるのではないかと思われる。同じ大学の外国語学科の学生なのに外国力の違いによって学習内容のレベルが全然違うし、それぞれの学習成果もレベルが違う。もしも日本語学習の開始段階が大学以下にできれば、現在の大学部の日本語教育内容だけではなく、日本語文研究の内容も一段とレベルアップし、学習者の日本語力の向上、そして日本語学研究、日本語教育学研究の成果の深化が期待できるのではないかと思われる。

(表 12) 台湾の各教育段階における必修外国語

	幼稚園	小学校	中学校	高校			大学 日本語関係 学科		大学院 日本語関係 課程	
				普通		職業				
				普通 課程	日本語 学程	応用 外国語科 日本語組	総合 大学	技術 大学	修士 課程	博士 課程
日本語	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○
英語	—	○	○	○	○	○	○	○	—	—

注：「○」が有、「—」は無を表す。

(教育部 2016 年『中華民國 104 年教育統計』を参照)

5. おわりに

異文化交流能力育成は外国語教育の最終目的だと思われる。異文化交流能力に必要な国際理解能力、国際交流能力のことを考える際、

専ら英語力を要求するよりも、アメリカ外国語教育協会（American Council on the Teaching of Foreign Languages）が 1996 年に提出した 5 C（コミュニケーション（communication）、文化（cultures）、連携（connections）、比較（comparisons）、コミュニティ（communities））の教育概念、EU で提出されている CEFR の複言語主義の概念と日本国際交流基金の「JF 日本語教育スタンダード」で提出されている言語構造的な能力、社会言語能力、語用能力を生かし、テキストとストラテジーを含めた受容、産出、やり取りを重視した教育観に基づいて、台湾にとって重要な複数の言語のことを教育政策の面からもっと力を入れて意見交換し、慎重に考えるべきではなかろうか。日本語教育においては学習者の日本語力の向上、日本語教育内容の深化、日本語教育制度の見直し、そして日本語教育環境の整備が求められている。

2016 年 5 月 20 日に就任した台湾教育部潘文忠部長は自由時報のインタビューに応じて「高校の選択科目が増えたら大学入試の科目も増やさなければならない」と述べている¹⁰。一日もはやく大学入試における、日本語を含む英語以外の外国語の位置付けがもっと大事にされる日が来ればよいと思われる。そうすると、なぜ台湾において国際化が英語化になっているのか、なぜ韓国はできて台湾はできないのか、なぜベトナムはできて台湾は出来ないのか、という疑惑も少しずつ解消されるようになると信じている。

参考文献

- 大橋敦夫（1993）「伊沢修二の日本語教科書編纂（承前）：現存資料の紹介と『東語初階』の内容分析」『学海』上田女子短期大学国語国文学会
- 徐嘉慧・何萬順・劉昭麟 2016「科技部人文社會科學研究中心規劃案期中報告 2015-6 語言學門熱門及前瞻學術議題調查計畫」科技部

¹⁰ 2016 年 5 月 23 日自由時報「星期專訪」による。

- 木村宗男（1973）「山口喜一郎の日本語教授法について-対訳法から直接法へ」『早稲田大学語学教育研究所 10 周年記念論文集』早稲田大学
- 教育部（2011a）『推動高級中學第二外語教育第三期五年計劃』
- 教育部（2011b）『中小學國際教育白皮書』
<http://ietw.cityweb.com.tw/GoWeb/include/pdf/whitepaperfull.pdf>
- 教育部（2011c）『中華民國高等教育簡介』教育部
- 教育部（2014）「十二年國民基本教育課程綱要總綱」教育部
- 教育部（2016）『中華民國104年教育統計』
https://stats.moe.gov.tw/files/ebook/Education_Statistics/104/104edu.pdf
- 黃宣範（2007）『語言社會與民族意識』（新版）文鶴出版
- 國際交流基金（2010）『JF日本語教育スタンダード2010』（第三版）國際交流基金
- 國際交流基金（2013）『海外の日本語教育の現状2012年度日本語教育機関調査より』くろしお
- 國際交流基金（2016）「2015 年度海外日本語教育機関調査結果（速報値）」<http://www.jpfi.go.jp/j/about/press/2016/dl/2016-057-2.pdf>
- 蔡茂豐（2003）『台灣日本語教育の史的研究（上）』大新書局
- 台灣教育會（1939）『台灣教育沿革誌』台灣教育會
- 陳美如（1998）『台灣語言政策之回顧與展望』復文圖書
- 吉島茂・大橋理枝 訳編（2004）『外国語教育Ⅱ 外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』朝日出版社
- 賴錦雀（2015）「台灣の日本語教育における漢字指導」『日本語教育研究』第 33 輯，韓國日語教育學會、ソウル
- 賴錦雀（2016）「台灣日本語教育年表（1895-2015 年）」『東吳日語教育學報』46，東吳大学
- 李雄揮（2004）「台灣歷史各時期語言政策之分析比較」『語言人權

語語言復振學術研討會論文集』台東大學語文教育學系

劉良璧（1741）『重修福建台灣府志』

<http://www.guoxue123.com/index.htm>

林初梅編（2012）『小川尚義論文集〔復刻版〕』三元社

Campbell, W. (1903) Formosa under the Dutch, Described from
Contemporary Records. Taipei: SMC Publishing Inc.

共通通信47news <https://this.kiji.is/149092418849931270>

高級中學第二外國語教育學科中心www.2ndflcenter.tw/main.asp

産経新聞[http://www.sankei.com/life/news/160301/
lif1603010038-n1.html](http://www.sankei.com/life/news/160301/lif1603010038-n1.html)

台灣觀光局觀光統計年報[http://admin.taiwan.net.tw/statistics
/year.aspx?no=134](http://admin.taiwan.net.tw/statistics/year.aspx?no=134)

內政部移民署資料統計[http://www.immigration.gov.tw/ct.asp?x
Item=1313198&ctNode=29699&mp=1](http://www.immigration.gov.tw/ct.asp?xItem=1313198&ctNode=29699&mp=1) (2016年5月14日檢索)

日本觀光局統計データ [http://www.jnto.go.jp/jpn/reference/
tourism_data/visitor_trends/](http://www.jnto.go.jp/jpn/reference/tourism_data/visitor_trends/)

後記：本稿は2016年7月2日に日本天理台湾学会第26回研究大会にて口頭発表した原稿に加筆・修正を施したものである。内容の一部は科技部專題研究計画「從認知語意學看日語形容詞的造詞」(研究番号NSC102－2410－H－031－017－MY3) の成果である。

(付錄 1) 東吳大學日本語文學科科目表

東吳大學 外語學院 日本語文學系學士班必選修科目表

(適用 105 學年度一年級入學新生)

科目名稱			選別	學分	第一學年		第二學年		第三學年		第四學年		備註
					上	下	上	下	上	下	上	下	
校訂共同必修	國文		必	4	2	2							
	外文 (英、德文)	外文(一)	必	8	2	2							大一必修英文(詳附註1說明)。
		外文(二)			2	2							
	歷史		必	2	2	0							各學系依「共通科目各領域開設時程表」分別安排於上或下學期修讀。
	民主法治		必	2			2	0					
	通識課程		必	12	2	2	2	2	2	2			
體育		必	0	0	0	0	0						
畢業標準	英文能力		必	0	學生最遲在延長修業年限內必須通過「英文」和「資訊」等兩項畢業標準能力檢核，未通過者不得畢業。								
	資訊能力		必	0									
	美育活動		必	0	學生最遲在延長修業年限內至少需參與校內藝文活動4場次，未通過者不得畢業。								
系必修	日語會話(一)		必	8	4	4							
	日語會話(二)		必	8			4	4					預修日語會話(一)
	日語會話(三)		必	4					2	2			預修日語會話(一)(二)
	初級日語		必	8	4	4							
	中級日語		必	4			2	2					預修初級日語
	高級日語		必	4					2	2			預修初、中級日語
	日語語法(一)		必	4	2	2							
	日語語法(二)		必	4			2	2					預修日語語法(一)
	日文習作(一)		必	4			2	2					
	日文習作(二)		必	4					2	2			預修日文習作(一)
	日語聽力訓練(一)		必	2	1	1							
	日語聽力訓練(二)		必	2			1	1					預修日語聽力訓練(一)
	日語聽力訓練(三)		必	2					1	1			預修日語聽力訓練(一)(二)
	日中翻譯實務		必	4					2	2			
	總結日本語文		必	2							2		總結性課程
系選修	日語發音		選	4	2	2							
	日本概論		選	4	2	2							
	日本故事選		選	4			2	2					
	日本歷史		選	2			2	0					
	日本地理		選	2			0	2					
	日語資訊處理		選	2			1	1					含上機操作
	日本現勢(一)		選	2					2	0			
	日本現勢(二)		選	2					0	2			

東吳大學 外語學院 日本語文學系學士班必選修科目表

(適用 105 學年度一年級入學新生)

科目名稱		選別	學分	第一學年		第二學年		第三學年		第四學年		備註
				上	下	上	下	上	下	上	下	
系	日本小說選讀	選	4					2	2			
	日本文化概論	選	4					2	2			
	日語語法專題	選	4					2	2			
	日本近代文學史	選	2					2	0			
	日本古典文學史	選	2					0	2			
	英語會話	選	4					2	2			
	語言學概論	選	4					2	2			
	現代日本應用文	選	4							2	2	
選	日本名著選讀	選	4							2	2	
	媒體日文	選	4							2	2	
	商務日語	選	4							2	2	
	日本文化與職場運用	選	2							2	0	
	旅遊產業日語	選	2							0	2	
	研究方法指導	選	4							2	2	
	日本古典文學	選	4							2	2	
	日本語研究	選	4							2	2	
修	中日翻譯實務	選	4							2	2	
	日本文化專題	選	4							2	2	
	日語口譯	選	4							2	2	
	日語教學法	選	4							2	2	
	日語會話(四)	選	4							2	2	預修日語會話(一)(二)(三)
	商用英文	選	4							2	2	
	高階日語	選	4							2	2	此為畢業標準補救課程，不列入畢業學分計算。
		必修	92									
畢業學分總計		選修	36	至多承認外系 16 學分								
		共計	128									

(付錄 2) 東吳大學英文學科科目表

東吳大學 外語學院 英文學系進修學士班必選修科目表

(適用 105 學年度一年級入學新生)

科目名稱		選 別	學 分	第一學年		第二學年		第三學年		第四學年		第五學年		備 註
				上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	
校訂共同必修	國 文	必	4	2	2									
	外 文 (日、德文)	外文(一)	必	8	2	2								2 選 1
		外文(二)	必			2	2							
	歷 史	必	2			2	0							
	民主法治	必	2			0	2							
	通識課程	必	8			2	2	2	2					
系必修	英美文學作品導讀	必	4	2	2									
	英文閱讀	必	4	2	2									
	英語會話	必	4	2	2									
	英文寫作(一)	必	4	2	2									
	英語聽講實習	必	4	2	2									
	西洋文學概論	必	6			3	3							
	英語語音學	必	4			2	2							
	英語會話-英語時事討論	必	2			2	0							
	英語會話-商用英語	必	2			0	2							
	英文寫作(二)	必	4			2	2							
	英語語言學概論	必	6					3	3					
	英語演講	必	4							2	2			
	中英翻譯與習作	必	4							2	2			
文學選修	浪漫時期前英國文學	選	6					3	3					文學課程中至少需修讀 10 學分
	英美小說選讀	選	4					2	2					
	英美散文選讀	選	4			2	2							
	英美詩選	選	4					2	2					
	成長的故事：短篇小說選	選	2			2	0							
	性別與弱勢研究：短篇小說選	選	2			0	2							
	英美兒童文學中的傳統脈絡	選	2					2	0					
	英美兒童文學中的當代趨向	選	2					0	2					
	浪漫時期起英國文學	選	6							3	3			
	美國文學	選	6							3	3			
	莎士比亞	選	4							2	2			

東吳大學 外語學院 英文學系進修學士班必選修科目表

(適用 105 學年度一年級入學新生)

科 目 名 稱		選 別	學 分	第一學年		第二學年		第三學年		第四學年		第五學年		備 註
				上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	
課 群	西洋現代戲劇選讀	選	4							2	2			
	聖經文學：舊約	選	2							2	0			
	聖經文學：新約	選	2							0	2			
	生態文學賞析	選	2									2	0	
	生態文學批評	選	2									0	2	
	西洋戲劇場景選讀	選	2									2	0	
	進階西洋戲劇場景選讀	選	2									0	2	
	中西文學人物之邂逅	選	2									2	0	
語 言 學 與 教 學	英語構詞法	選	4			2	2							
	英語詞源學	選	3					2	2					
	兒童英語教學	選	4									2	2	
	英語教學法	選	4									2	2	
	英語教學組織管理	選	2									2	0	
	英語語言測驗與測驗評量	選	4									2	2	
翻 譯 寫 作 與 實 務	中英逐步口譯	選	4							2	2			
	中英同步口譯	選	4									2	2	
	中英翻譯專題：人文	選	4									2	2	
	中英翻譯專題：商業與科技	選	4									2	2	
	新聞英語	選	4	2	2									
	國際會議實務	選	2					2	0					
	商用英文閱讀	選	2					0	2					
	跨文化溝通	選	4									2	2	
	進階英語會話—電影討論	選	2							2	0			
	進階英文寫作	選	4									2	2	預修英文寫作(二)
	高級英文寫作	選	4									2	2	預修英文寫作(二)
畢業學分總計		必修	76											
		選修	52											至多承認外系 16 學分
		共計	128											

(付録 3) 台湾科技部研究部門類別における外国語教育学

表一：語言學門次領域

語言學類之次領域	語言教學與學習類之次領域	語言研究類之次領域	
語音學	英語教學研究	漢語語言學	印歐語族
音韻學	英語教材教法研究	國語 / 北方官話	英語
詞彙學	英語課程設計	閩語(閩南、閩北)	德語
語法學	英語測驗評量	客語	日耳曼語系其他語言
語意學	專業英語教學研究	其他漢語方言	法語
語用學	英語聽力研究	西北官話	西班牙語
方言學	英語能力研究	西南官話	拉丁語系其他語言
漢語史	英語口說研究	江淮官話	塞爾特語系
上古漢語	英語發音研究	吳語	希臘語
中古漢語	英語閱讀研究	湘語	俄語
近代漢語	英語寫作研究	贛語	斯拉夫語系其他語言
現代漢語	英文字彙研究	粵語	梵文
言談篇章語言學	英文文法研究	少數民族語言	波斯語
類型學	英語翻譯研究	藏緬語	印度波斯語系其他語言
語言哲學	英語教學應用	侗傣語	阿爾梅尼亞語言
社會語言學 / 語言	英語電腦/網路/媒體教學	苗傣語	其他語言
與文化	研究	卡代語	阿拉伯語
心理語言學	英語教學與語言類別習得	滿州語	希伯來語
神經語言學	英語教學與社會語言學	蒙古語	其他
計算語言學 / 語料	英語教學與語言類別文化		
庫語言學			
翻譯學	英語教學與戲劇研究	突厥語	
認知語言學	漢語教學研究	南亞語	
	對外華語教學研究	南島語言	
	德語教學研究	臺灣南島語言	
	日語教學研究	西部南島語言	
	法語教學研究	東部南島語言	
	西班牙語教學研究	東北亞語言	
	南島語教學研究	日語	
	其他外語教學研究	韓語	
		琉球語	

(徐嘉慧・何萬順・劉昭麟 2016 「2015-6 語言學門熱門及前瞻學術議題調查計畫」
科技部人文社會科學研究中心規劃案期中報告 p. 2 による)